

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 27日

一宮市長 殿



提出者

住所 愛知県名古屋市緑区籠山3丁目202番地

氏名 解体ニツカ株式会社

代表取締役社長 [Redacted]

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052(879)1566

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	解体ニツカ株式会社
事業場の所在地	愛知県一宮市浅井町尾関字奥屋敷50 他19件
計画期間	2025年4月1日 ~ 2026年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D06 建設業/ 総合工事業
② 事業の規模	2億7千
③ 従業員数	4名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<input type="checkbox"/> 木くず⇒中間処理事業者へ委託(燃料チップ・再生品原料化) <input type="checkbox"/> 紙くず⇒中間処理事業者へ委託(再生原料化) <input type="checkbox"/> コンクリート⇒中間処理事業者へ委託(再生資材化) <input type="checkbox"/> 繊維くず⇒中間処理業者へ委託(堆肥材、再生原料化) <input type="checkbox"/> がれき類⇒中間処理業者へ委託(路盤材への再資源化又は埋め立て処分) <input type="checkbox"/> ガラス・陶磁器くず⇒(中間業者で選別の上、再資源化又は埋め立て処分) <input type="checkbox"/> 廃プラスチック⇒中間処理業者へ委託、選別の上埋め立て又は再資源化 <input type="checkbox"/> 建設混合廃棄物⇒中間処理業者へ委託(選別の上で再資源化又は埋め立て処分) <input type="checkbox"/> 金属くず⇒中間処理業者へ委託(再資源化)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	工事施工管理部長			
	本社管理主任	書類関連責任者		
	各 営業所	営業所適正処理責任者		
	各 工事現場監督	現場単位廃棄物処理責任者		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組) 営業所・現場単位での廃棄物軽減の意識統一 適正な中間処理業者への委託	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) 各現場ごとでの分別の徹底 優良認定処理業者への委託 梱包材の軽減 リサイクルの意識向上	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず・紙くず・繊維くず・ガラス・蛍光管・ 金属くず・石膏ボード・石綿の分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各現場ごとでの分別の徹底

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(これまでに実施した取組)		

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。